

平成 28 年 9 月 18 日（日） 信太校区 タウンミーティング 参加者 16 名

【地域の課題】

市民：仲良しクラブについて、指導員が女性ばかりだが、ところが、6年生とかなると喧嘩が始まる。女性では止められない。私も何回か止めたことがある。できれば男性の採用も入れて欲しいと思う。

市民：先日来、北信太駅前整備をお伺いしているが、それに関しては聖ヶ丘だけの問題ではなく、鶴山台、近隣の町会も遠くから来られる方が一部入っておられるかもしれない。雨の日とか登下校の時に、遠い方は車で送迎に来られる。それだけでなく、下校時も道が狭い。駐車の方もおられる。車の事故だけでなく、対人的な事故も起こっている。聖ヶ丘町会の皆さんも前に車を止められたり、事故を見られたり、これは具合悪いのではないかと。開発の計画をお聞きしており、市長もご苦労されていると思うが、南部は開発が進んでいて北部は置き去りとまでは言わないが、進んでない。開発すべて 100%とは言わないが、多少の開発を進めていただければ。「地域の課題」に提案も含めて出させて頂いているが、抑止力ではないが派出所など警察の出先機関が主要都市の駅前には有ると思うが、案内もできるような交番も考えて頂ければどうかと考える。

市長：交番は和泉市が設置するものではなく警察になるが、また協議させて頂く。和泉府中にも、和泉中央にも交番がある。北信太駅は割と乗降客が多い。信太山の倍くらい。私も駅で実際に見ていて、状況は十分理解している。7-9 道路で、規制されているが、なかなか守られないし、警察に相談してもあそこは仕方ないと。7-9 道路の規制を外したいが、地元の方は 7-9 道路にしてやや少なくなっているから残してほしい。実態と規制がずれてしまっている状況。通勤や通学に送って来られるのは、小さいお子様が多い。治安が良くないということもあって保護者の方が送って来られるのを理解できないこともないので、完全に規制してしまうのは難しい。シャットダウンや一方通行にしてみると、聖ヶ丘住民も通行をどうするという問題にもなるし生活の不便になる。やはり駅前を整備していくのが根本的な解決になると考える。ところが駅前整備には物件保障が必要で、建物をつぶして整備していかないといけない、公共工事で一番時間がかかるのが用地買収。北信太駅前線は、UR が 45 年前、昭和 46 年に鶴山台のまちびらきをし、その時の計画では北信太駅前線、貝吹山古墳と駅前と、ここに地図もあるが、（図面を広げて）駅前のこれだけの計画が当初からあった。貝吹山古墳からずっと信太山駅前まで来てロータリーを作ると、ここに南海バスの回転場までは来ているが、他の用地買収はほとんど手つかず。進めて行きたいと考えている。北信太駅、北部地域はほったらかしではという意見があったが、決してそんなことはない。北部リージョンセンターも凍結されていたのをできるだけ早く作ろうと、今年の 7 月にオープンした。先行の北信太駅の西口。ずいぶん昔から西口を作ってほしいというご意見もいただいており、バリアフリー

化もした。車いすの方がホームに行こうとしたら、駅員さんに担いでいただくか、南側の踏切まで来て渡っていただくということだが、エレベータの早い設置を考えているが、場所が無い。エレベーターをつける場所が限られていて、地下の通路に繋がるようにしなければならない。和泉市の駐輪場の非常階段のところになる。非常階段をつぶしてエレベーターを作れない。今の計画では駐輪場の耐震の工事や建て替えもあり、撤去して、そこにエレベーターをもってこようということを考えている。新しい駐輪場をどこに持っていくかを検討している。決して全く着手してないのではなくて、いろいろと調査しながら進めている。この計画も、駅前東側の駅前広場の整備が第一で、駅前駐輪所をつぶして、次にエレベータの設置という構想を持っている。その調査中で、来年 29 年度に整備に向けた基本構想を策定する。その時には、お話をさせて頂く。現在は計画をしている。

市民：いずれにしても計画はありがたいですが、実際にどのへん位か、どれくらいの可能性があるのかなのか。ここまでにこれだけのことをできますよと、言質取るわけでないが、いつできるのか、実行して頂きたいと思う。

市長：計画を立てて終わりと言うことはない。一つずつ西口も着手して、小さなことから積み重ねが事業を進めて行く上でなによりも大事と思っており、計画を作って終わりではない。

市民：前回のタウンミーティングでも、駅前整備の件で提案させて頂いた。何十年前からの話であり、せめて何年先かわからないが、何年先には必ずこうする、という返事はいただけないか。

市長：計画しない事には、根拠のない中で何をしますということとは言えない。暫定的な計画ではあるが、大体事業費は 26 億円位かかる。特に大きいのが物件保障で、建物の立ち退きをしていただかないといけませんが、相手があることで、もちろん我々も進めて行くが、和泉市の駅前開発は土地を持っている人と建物を建てた人とそれを借りている人の権利の整理までしていかないといけない。相手のあることなので、何年までにできるということではない。

市民：それは今まで何度も聞いている。この前の議会でデルフィン議員がバス停の裏の公園のことで質問されたが、市の返事はどういう返事だったか。

市長：又調べてご連絡する。ちょっと記憶にないので。すみません。

市民：結構です。

市長：あそこにロータリーを作るということですね。

市民：狭いからそこまで行かないと思うが、もう少し広げられたら。貝吹山の回りに広い場所、私有地があるが、あそこは立ち退きもないと思うが、あの貝吹山と連動すれば結構広い場所が取れると思う。今の住居とは別に。あの場所は結構広い。

市長：一時的に利用するということか。

市民：その方が早い。歩いて駅までしれている。確かに雨降りの時は大変かもわからない

が。

市長：以前そういうご意見いただいた記憶がある。屋根を作って、駅前まで行けるようにしようということですね。

市民：検討はされたのか。

市長：検討は難しい。中途半端になる。やはり綿密に計画を立てて、北信太駅前線を整備していこうとしたのですが。

市民：何十年先になるよりもここ5年10年くらいで、少しでもよくなってほしいと。

市長：何十年先にはならない。大体私の見通しでは15年位かかるかなと。

市民：私は生きてないですね。

市長：人間はいつ死ぬかわからないが、私も生きている、生きていないは別として、計画はきっちりとして方向性は示していきたいと思う。

市民：私達は素人でわからないが、ある程度は段階的に校区長等に報告は頂けるものか。別に言質をとるわけではない。我々の年齢で、こう進んでいるなということを確認していきたい。

市長：来年度に計画を策定するので、その計画策定の過程でも、また情報公開させて頂く。

市民：道の話だが、地権者がいると立ち退きの問題も難しいとおっしゃったが、自転車置き場だけ取って、あそこだけ広くしてどうなるのか。何年先かわからないが将来的には高架になるわけで、南海電車はそうになっている。阪和線も遅まきながら府中駅みたいに、上へ駅を移すのはJRとしても可能かと。JRとしてそう持っていきたいと思っていると思う。実際、狭いので道を広げないといけない。広場を作ったところでそれが道路の解消にはならない。もともと信太山へ行くまでの道は、線路側は広まっている。あそこからもっと抜ける形にするのか。それとも地権者、店舗等が立ち退きするのが高いなら、駅をずらしたらよい。そして、バス入れるようにしたらいいのではないか。いくらでも土地は空いてるのだから。構想を作るなら、そこまで考えなければ。自転車置き場を撤去して、そこへロータリーを作って、しかし依然としてバスは通れません、というのはもったいない話で、来年に向けて構想を練るといふなら、東側線がもうそこまで来ているのだから、根本的な構想から後をどうするかという点を考えてほしい。

市長：今の計画では駐輪場の所を最終的な形としてはロータリーにする計画。

市民：こちらから東側線から入る道は狭い。もう一つの信太小学校へ入る道も狭い。何かバスも入れる道を作ってやったら迂回できると思う。自分としては、そこからバスに乗って、火葬場まで行けるようにしてほしい。

市長：今の道の形態はバスの入れるような道がない。バスが入れる道をつくろうと思ったら、北信太駅前線を整備するというのが一番現実的な道となる。

市民：道を広くするといっても、全部立ち退きではないから、費用的にそんなに要しないと思うし、店舗も営業しているところもあるが閉めている所も多いし、そこまで考

えて、信太山からの東側線を付けなおすのか、店舗があつて不可能というなら、駅をずらしてしまつてはどうか。信太山が近くになってしまうから、信太山も北信太も一緒にしてしまうのもどうか。そうすればバスも入れる。安くあげたところで解決法になるかというとなりにくいと思う。車が入ってきにくい所なので。警察が、何時から何時までこの道路入ったらいけないと書いてるが、一人も守っていない。雨の日は余計に入ってきている。どうせ案を練ってくれるのなら、病院建て替えて費用も要するだろうが、どうせやるなら将来的に効果があるよう構想を練って頂いた方が和泉市のためになる。

市長：どういう構想か検討がつかない。それについてはまた教えていただきたい。

市民：言いたいのは、自転車置き場を撤去し移転させて、少し広くしたところで、元々の道が狭いから、それは解消にはならないと思う。検討をお願いしたい。

市民：そのようなことを専門家に頼んでいただきたい。

市長：一気に物事は進みづらい。地域の方々の意識が醸成されて、エレベータもできた。元の駐輪場をつぶして、それはどこかに作らないといけないが、ロータリーを作つて整備する計画で進んでいる。ロータリーを作り、いよいよ始まったなという時には、地権者の方々が、それならば協力しようかというふうに意識が芽生えてくるのではないかなと。少しずつきっちり進めていきたい。

市民：市の圧迫問題。小中一貫のお金のことを聞かせて頂きたい。すごくいい面があると思う。医療の一部を任せた。デフレのコストを下げる。小中一貫の喧嘩、気持ちのメンタル面を即判断できるかと、女の方は即判断できるか。意見をまとめて事務局に渡すようにするので見ていただきたい。

市民：太町の者だが、毎日 5 時半から散歩がてら町内のゴミ収集を見たところ、あまりゴミ袋の 5L 袋 を使つてるように見えない。70 歳の方の見守りをお伺いして、聞くと独居の方は 5L よりも、週 1 回 10L で間に合うと。生活環境課に和泉市全体で 4 種類のうち 5L はどうですかと聞くと、やっぱり少ないと。具体的に何%までは聞いていないが、5L は必要ないかなと。70 歳以上の家庭を訪問したら 30L 袋を作つてほしいと言うといつてと言われた。45L 袋はかなり大きい。46 件の内 22 件が、30L 袋が良いというご意見。

北部リージョンセンター開設ありがたく思う。西側の道にあるグラウンド、これは老人会のペタンク専用の用地となつてるようだ。というのは、私とその横で野菜を作つており、3 月ごろこどもがドッジボールで遊んでたら、入口にドッジボールする など書いてありますが、管理者が「やめて帰れよ」と言つて、すぐすぐ帰つた。北部リージョンセンターは地域のみなさんのための施設と解釈してるので、このグラウンドについて、野球やソフトボールは困るが、ドッジボール、ランニングのコースや場所としてすべての人に解放して頂くことを許可願えないか。

もう一つは認知症対策。よくご存じと思うが、認知症になる前に各地区で、太町

ではイケチュー前の会館でお年寄りとふれあいの場所を作って、市でもオレンジカフェといって作られているが、この近辺ではない。いろんな問題があるかと思う。実は昨日、NHKで広島県大竹市に、メイプルヒルセンターという日本で最初の認知症に対して医療と介護の合併の施設ができたと放送していた。この施設は、認知症かもしれないというお問い合わせがあったら、医者と社会福祉士と包括センター職員と市の介護保険担当者の4者がそこへ行って、いろいろな相談事を受けて相談し、このようにしてはどうですかと。テレビでは平成30年までに全国にこういうセンターを作ろうという政府の意向か何かがあるらしいが、今日の資料の16ページに今、新しい市立病院を作っていますとあるが、この病院内でそういう施設を作る構想はあるのか。一つご検討いただけないか。

政務活動費についてです。広島で架空の出張費を出して事件になったり、9月14日に産経新聞で、又今日MBSテレビの番組で富山の市議員が政務活動費不正発覚。8人市議員が辞職。和泉市市議員はそんなことはないと思うが、今、和泉市市議員は一人当たり政務活動費を月額7万もらってるらしいが、第2の報酬もらってるんじゃないかという見方にならないように、政務活動費のチェック体制、どのように使ってるのかと、市のどの部署か素人ではわからないが、会派ごとか、市長として財政を預かっている関係上、どのようにチェックをされるのか。私の希望としては、毎月全議員さんが市民のために私はこのようにちゃんと使っていますよと公表してほしい。インターネット、皆が使ってるわけではないので、そういう人のために毎月発刊されてる広報いずみ冊子に年少なくとも3回位、全議員さんが私はこのように使っていますよと、公表してもらおう動きはとれないものかと、以上のお答えできる範囲でお願いしたい。

市長：老人クラブがペタンク専用に使っているというのはわからないが。

市：有料の施設で、予約していただいて使っていただく。

市民：子供さんがバドミントン気楽にやるのも予約しないといけないのか。

市：有料の扱いの施設になっているので、どなたでも事務局に申し込んでいただければ使える。

市民：使用料払えば使えるということか。

市長：30Lのゴミ袋はやはり私も必要と思う。5Lもものすごく要望があった。実際に使ってみて5Lが必要ないという要望ならなくしてもいいかなとも思うが、利用者のご意見を聞いて決定していきたい。認知症対策だが、テレビで取り上げられる上げられない以前に和泉市は先進的に医療と介護の連携に熱心に取り組んで頂いて、平成20年の大阪府のモデル事業として医療と介護の連携に取り組んできた。25年には医師会と歯科医師会と介護の包括支援センター、ヘルパーがグループを作って下さって毎年発表会も行って頂いて、条例化もしていただいて、和泉市民を中心とした、医療と介護の連携推進協議会、医療従事者の役割を明確にした条例も作って、これ

は日本で初めて作った条例。そういう点では 我々行政がリードしているのではなくて、医療従事者、介護従事者がしっかりとサポートしている。今、在宅もし、一人の患者をいろんな方が取り巻いて、医療と介護の連携をして頂いている。決して和泉市が遅れているということはない。またそういう関係の方に情報提供して頂けると思う。施設についてはいまのところ、市立病院で医療と介護の連携の施設を作る予定はないが、将来そういうニーズが出てきたら、検討していきたいと思う。

政務活動費につきまして、我々が議会にチェックされている立場で、和泉市の場合はかなりきっちりと領収書、報告書を随分前からチェックしておりまして、私が議員をしている時から、調査研究費、政務調査費とか名前変わってきたんですが、1円から領収書添付するようになっていて、情報公開の対象になっている。議会の政務活動費については誰でも見られるので、不正が働く状況ではないし、私も議員をしていたので十分わかっている。政務調査費は7万円で、年間84万円になる。議員活動をまともにしていたら足りない。私はその2倍ほど使っていた。交通費や、色々な資料を入手したりするのに経費が必要。議員は非常に熱心なので、政務調査費以上に費用がいると思う。活動していない人は活動費を返したり、自分の所得もあって、それ以上はもらわないという考えで一銭ももらっていない人もいる。それは議員の考え方。報告書については、和泉市は適正な使い方で、政務調査費の不正はない。

市民：政務活動費を受け取っていない人もいる。受け取っていないから仕事をしていないという意味ではなく、将来的にも不要ではないか。何もかももらおうと、自分の家をいじくって事務所になっているとか、そんな見苦しい話はやめて、政務活動費自体も自分でやれと思う。

市長：いろんな考え方があると思う。全額返してる人もいる。